

令和6年度 第7回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和6年8月24日（土）9時30分～16時00分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 集会室、調理実習室
- 3 出席者 子ども会議委員11名、子どもサポーター1名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) 子ども会議フォーラムに向けて
(2) 子どもの権利に関する講義
(3) グループ活動

5 開催概要

最初に全員で子ども会議フォーラムに向けての話し合いを行い、子どもの権利に関する講義を受け、その後グループに分かれて活動を行いました。

子ども会議フォーラムに向けて

子ども会議フォーラムに向けて、サブタイトル決めとチラシのデザイン決めを行いました。どちらも、事前にみんなで出し合った候補の中から選びました。

サブタイトル決めでは、どの候補が良いかひとりひとり意見を述べました。そのうえで、複数の人気候補の中から1つに絞ることにしました。人気候補の中で、「候補同士でニュアンスがほぼ同じもの」を片方に絞ったり、「いままでのサブタイトルと似ているもの」は候補から外したりすることにし、最後に多数決をとって、サブタイトルは“子どもの声を実現へ”に決定しました。

チラシのデザイン決めでも、サブタイトル決めと同じく、どの候補が良いかひとりひとり意見を述べたうえで、1つに絞りました。決定したデザインの背景部分は、例年どおり黒板背景とすることになりました。

子どもの権利に関する講義

子どもの権利擁護委員の沼田徹先生にお越しいただき、子どもの権利に関する講義をしていただきました。「権利って何だろう？」、「権利と人権の違いって？」、「尊厳ってどういう意味？」、「子どもの権利の必要性って？」などについて、具体例を用いてわかりやすく解説していただきました。

講義を受けた委員からは、「人権について自ら知ろうとしたり、考えようとする姿勢が大事だとわかった」、「権利の担い手として、子どもの権利の普及が自分のまわりで行きわたるように自分が変えていきたい」、「今は自分が権利で守られているけど、自分が大人になったら、子どもを守る立場になっていきたい」という感想が挙がりました。



グループ活動

<青森シェアし隊>

子ども会議の公式 Instagram で、子どもの権利相談センターや子どもの権利擁護委員のことについて紹介するために、本日講義をしてくださった沼田徹先生にインタビューを行いました。「子どもの権利相談センターとはどういうところなのか?」、「どんな相談がどのくらいくるのか?」、「擁護委員としての仕事で心に残っていることは何か?」などの質問に対し、ひとつひとつ丁寧に回答してくださいました。



お昼ご飯を食べた後は、Instagram の投稿準備を行いました。“沼田徹先生へのインタビュー”に加えて、事前に調べてきた“青森の有名人”についてや“夏休みの活動で見学に行った場所”の投稿準備も並行して進めました。投稿文やハッシュタグを考えたり、有名人それぞれの似顔絵を描いたり、みんなで分担して作業を進めました。大人顔負けの似顔絵を完成させたメンバーもいて、盛り上がりながら楽しく活動できました。



<UPDATE A. B. C. >

前回のグループ活動でリンゴ狩りを行いました。今回はそのりんごを使って料理を作りました。午前中は準備を行い、お昼ご飯を食べた後に料理を始めました。作ったのは、「りんごシロップのかき氷」、「焼きりんご」、「アップルパイ」、「マーボーりんご」、「りんごの味噌汁」、「塩りんご（りんごに塩を振って食べる）」の計6品です。

「焼きりんご」と「アップルパイ」は定番のメニューでもあり、とてもおいしくできました。「りんごシロップのかき氷」は、とても暑い日だったこともあり、りんごの酸味を感じながら、食べてとてもさっぱりしました。りんごを使った意外な組み合わせで新しい発見をねらい、変わり種として「マーボーりんご」、「りんごの味噌汁」、「塩りんご」を作ってみました。が、「マーボーりんご」は賛否あったものの、概ねおいしいという声が多かったです。暑い中、慣れない料理に苦戦しながらも、みんなで協力して作ることができました。



最後に、「青森シェアし隊」のメンバーも調理実習室へ移動して、「UPDATE A. B. C.」のメンバーがつくってくれた料理と一緒にいただきました。食べ終わった後は、全員で食器洗いなどの後片付けを行い、活動を終了しました。